

## ■白川村（しらかわむら）

人口 1,545 人 面積 356.64 km<sup>2</sup>

【ビーチボール】



白川村は岐阜県西北部に位置し、平成7年に世界文化遺産登録となり、伝統的な景観や歴史を持つ家屋は日本の原風景ともいわれております。また、急峻な山々に囲まれた農山村である村の面積 356.64 km<sup>2</sup>のうち 95.7%を山林が占めており、その豊かな森林を活かした白山国立公園、天生県立自然公園など豊かな自然にも恵まれております。

### ○世界文化遺産「白川郷合掌造り集落」



白川村荻町合掌集落。溪谷に流れる庄川の河畔に約1kmにわたって広がり、114棟の合掌造りが現存。630人ほどの村民が今も変わらず暮らしています。かつては日本の秘境ともいわれた日本有数の豪雪地帯。合掌造りは、こうした厳しい気候風土に耐えられるように先人の知恵によって生み出されました。その昔懐かしい佇まいは、四季折々の自然の変化とともに様々な表情を見せてくれます。

### ○どぶろく祭り

白川郷では毎年、9月の終わりから10月にかけて、五穀豊穡・家内安全・里の平和を山の神様に祈願する「どぶろく祭り」が盛大に行われます。

白川村の各地区の神社で、御神幸、獅子舞、民謡などの神事が繰り広げられる、歴史と伝統ある白川郷ならではの祭りです。その名のとおり、祭礼に神酒として「どぶろく」が用いられ、人々にも振る舞われるのが最大の特徴です。

